

学校関係評価報告書

学校法人清水学園 湘南平塚看護専門学校関係者評価委員会は、令和5年10月15日に「令和4年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下の通り報告します。

令和5年10月29日
学校法人 清水学園
湘南平塚看護専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

委員長 杉山 昌行氏 (平塚商工会議所 副会頭)

委員 小岩 正子 富士見台病院 看護部長
小川 愛子 本校第10期卒業生

【事務局】

清水 裕 学校法人清水学園 理事長
志村 央子 湘南平塚看護専門学校 副校長
清水 怜 学校法人清水学園 理事長補佐
吉田 光一 湘南平塚看護専門学校 事務局長

2. 基準ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
(1) 教育理念・目標	ホームページ等にも明示されており問題ない。
(2) 学校運営	教育理念・目標を受けて適切に運営されており問題ない。
(3) 教育活動	看護師養成のための学校内の教科・科目の各授業、演習、学校外における臨地実習等、教育活動全体にわたって評価できる。 国家試験合格率は全国平均前後となっており、引き続き懸案事項である。 正課外（土日）の国家試験対策を強化した。

(4) 学修成果	求人票等は非常に多く、就職についても問題ない。卒業生の活動把握や同窓会を通じた卒業生との連携拡大が課題である。
(5) 学生支援	進路・就職・学校生活について学生に対応する担任制が確立しており問題ない。奨学金を利用する学生が増加しており、給付型奨学金を利用できる学生に対する教宣を強化する必要がある。多子世帯の支援も始まるので、該当者が申請するよう促す。
(6) 教育環境	施設・設備は充実しているが、今後は経年劣化も考慮に入れ、より施設改善を推進していく必要がある。まずは旧館の屋上防水工事を実施した。
(7) 学生の受入れ 募集	受験者及び入学者は前年度を下回っている。18歳人口の減少、大学志向など減員要因がある。募集方法のテコ入れも必要か。
(8) 財務	健全に運営されており問題ない。
(9) 法令等の遵守	自己評価でも基準を満たしており、問題はない。

3. 学校関係者評価の全体的な総括について

自己点検・自己評価 結果	各項目共、適切または、ほぼ適切に評価がなされている。
を見て全体的な評価・意見	一部の低評価項目の内容の一層の改善が望まれる。